

「絵画」も「建物」も文化勲章受章者の作品

◆ 小山敬三画伯

明治30年(1897年)小諸に生まれる
旧制上田中学校卒業後 画家になることを決意
慶応義塾大学中退
島崎藤村の勧めでフランスへ留学
フランス滞在中から高い評価を得る
フランス人マリー・ルイズと結婚
有島生馬、安井曾太郎らと一水会を創立
茅ヶ崎に自宅を持つ
第2次世界大戦中 御牧ヶ原に疎開
「白鷺城」「浅間山」「肖像画」シリーズ
軽井沢に別荘を持つ
日展審査員となる
日本芸術院会員となる
小諸市名誉市民となる
文化勲章受章
美術館と作品を小諸市に寄贈
(美術館の設計は文化勲章受章者・村野藤吾氏)
茅ヶ崎市名誉市民となる
昭和62年(1987年)89歳で亡くなる

◆ 「美術館」「記念館」の開館日

●美術館：毎日開館

(12月～3月第2週の水曜日、年末年始は休館)

●記念館：4月14日～10月27日の日曜日・祝日のみ開館。

4月27日～5月6日、7月13日～9月23日は毎日開館

◆ 美術館の展示作品

最初に描いた油彩画をはじめ、水彩画、滞欧中の作品、晩年のものまで、油彩画、日本画、書など、小山芸術の代表作がそろっています。

収蔵作品は約210点。代表作約30点を常設展示し、年2回企画展を行っています。

記念館では、絵画のほか、画伯に関する資料も展示しています。

◆ ミュージアムショップ

絵葉書、額絵、一筆箋、クリアファイル

図録「小山敬三美術館収蔵作品集」

書籍「気韻生動の画家 小山敬三の世界」

CD「藤村の詩と文」(加賀美幸子朗読)

2019. 4 ▶ 2020. 3



小山敬三《真昼の白鷺城》

2019年度展示案内

EXHIBITION SCHEDULE

小諸市立小山敬三美術館

KOYAMA KEIZO MUSEUM OF ART

千曲の流れ 北アルプスの山々 眺望百選の地

企画展 「島崎藤村と小山敬三展」

4月20日(土)～11月4日(月)

自然主義文学で知られる島崎藤村は、絵画への関心も高く、画家になることを考えたこともありました。藤村が教師として小諸で過ごした時に小山家と親交があった縁で、小山敬三は画家を志す際、藤村の助言を受けに行きます。藤村は、小山を激励し、画家としての一生を決めるアドバイスを与えます。本展では、藤村が小山芸術に与えた影響などについて未公開資料を交えて解説します。

企画展 「小山敬三の海景展」

11月9日(土)～2020年3月31日(火)

山や城などの陸景画で知られる小山敬三は、海の絵も数多く描いています。新規に収蔵された作品や未公開のスケッチなど、小山敬三のダイナミックな海の世界をご紹介します。



小山敬三《瀬戸内海》

小山敬三記念 小諸公募展 作品募集中

応募作品の搬入 10月13日(日)～15日(火)

浅間山、千曲川、小諸周辺を題材とした作品(具象の風景画)を募集中

規格は「10号以上50号以下(S・不定形は除く)」

全国から毎回約200点の応募

小山敬三記念大賞(賞金10万円)ほか各賞

入賞・入選作品展は10月20日(日)～11月24日(日)

小諸高原美術館で開催

「応募要項」は小山敬三美術館へ

〒384-0804 長野県小諸市丁221

TEL/FAX.0267-22-3428

開館時間 9:00～17:00

観覧料 一般200円 小・中学生 100円

展示内容及び休館日等は、都合により予告なく変更することがあります。

